

第284回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和4年12月12日（月） 11:00～12:00

2 開催場所 宇都宮東武ホテルグランデ

3 委員の出席 委員総数 5人
出席委員数 4人

(1) 出席委員の氏名 小笠原 伸 （委員長）
君島 理恵（副委員長）
青木 敬信
新井 啓泰

(2) 欠席委員の氏名 高橋 淳

(3) 放送事業者側出席者 鈴木 峰雄（代表取締役社長）
佐藤 望（放送部長）
高賀茂 沙緒里（放送部）

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

2022年月12月2日に放送した番組「ゆいがーのちむちゅらさ」について、
試聴と意見交換をおこなった。

事業者： 沖縄県と栃木県とを結ぶ番組です。音楽を入り口にして、

珍しい母子ユニットの沖縄音楽アーティスト「ゆいがー」を
パーソナリティに、沖縄の音楽、文化、歴史、沖縄の言葉などを
紹介しています。

お聴きいただくのは、ゆいがーのメンバーが、とちぎの秋を満喫した様子を
放送した回です。

今回は、この番組を試聴していただきます。

【 番 組 の 試 聴 】

委員： 沖縄を売りにする現在活躍中のアーティストが栃木との繋がりを持つ番組は今までになく、面白い。

委員： 番組を通して沖縄のことについても知ることができるので、栃木と沖縄との異文化交流という意味では価値があると思う。

委員： 雰囲気はいい。テンポも良く明るく元気がいい。

委員： 聞き流しながらの番組としては良いのではないかな。

委員： 女性4人のトークは聴きにくい。誰が話しているのかわからない
ファンはいいのかもしれないが、それ以外は少しうるさく感じる

委員： 沖縄の方のトークはこんなイメージ。受け入れられる人が聴けば良いのではと思う。

委員： 放送時間帯も良い。アーティスト系の番組で、賑やか。聴いていて元気が出る。

委員： オープニングトークの沖縄弁挨拶は、早すぎてよくわからない。
標準語で意味の説明も加えてほしい。

委員： ショウコさんの声は、アニメっぽく個性的。とても48歳には思えない。

委員： マングースの話は、やはり現地の方が話してくれると面白く感じる。

委員： リスナーからの質問にショウコさんが一生懸命調べて答えているのが好印象だった。

委員： 本土と沖縄の違いなど、なかなか聴くことができない話題なので貴重だと思う。

委員： リスナー質問コーナーは面白い。
ただ、沖縄だけの話題に固執せず、普通の話も聞きたい

委員： 放送回によっては、1人1人にスポットを当ててみても良いのではないかな。
グループやメンバーについてもっと知りたい。

委員： メンバー全員が毎回出演する必要があるかな？
親子同士や同年代同士など、色々なパターンがあってもいいのではないかな。

委員： 楽曲に至るまでが長かった印象。

委員： ロケでの素材は、工夫されていたが、もう少しわかりやすくなると良いと思う。

委員： ロケリポートの音が悪い。
佐藤アナウンサーや若山さんの紹介がほとんどなく、聴いていてわからない。

委員：ラジオでのロケは、ある程度のスキルも必要になってくる。
風景描写などが物足りなく、伝わらなかった。せっかくのロケなのにもったいない。

委員：栃木の中の沖縄、沖縄の中の栃木も発掘してほしい。

委員：メンバー内で滑舌の差が大きく感じた。何を話しているのか、わかりづらいメンバーがいる。

委員：番組のHPが動いていなかった。

委員：番組を聴いて、沖縄に行きたくなる人も多いのではないかな。
今後、旅行会社とタイアップして沖縄旅行ツアーなど展開も検討できるのではないかな。

委員：メンバーの能力は高いと思う。
好きに動いてもらって、うまく魅力を引き出してほしい。

委員：全体的にはスピード感とノリがあって、楽しく聴ける番組。
ただ、番組の質としてはまだまだな印象。

委員：単なる、騒ぐだけの番組ではなく、栃木と沖縄を結ぶという意味では
何を目指すのか？番組の意味をしっかりとって1年を通して果たしてほしい。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を1月16日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日
(1) 放送 12月25日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
(2) 書面 本社事務所に備え置き
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし